

光コラムズ 100メガバイト

ブロードバンド時代のインタラクティブコンテンツ

野生のネコはノラネコ。野生のカメはノラガメ。そして野生の「光コラムズ」はノラ光コラムズ。ということで、今回は最終回です。インターネットマガジンという飼い主の手から放れ、野生の大地に飛び出します。ここでの連載は最後ですが、どこかでしぶとく生き残っていますので、街で見かけたら絶対にエサは与えないでください。ということで最後の100メガバイトなコンテンツをとくご覧あれ!

今月の100メガバイト時事ニュース

マンガ：萩原 慶

お題:『おかしなふたり イン ジャパン』



稼働開始から1か月が経とうとしている住民基本台帳ネットワーク、略して住基ネット! すでに各地で住民番号の誤配信などが相次ぎ、その運用のずさんさが明るみに出てきた感がある。となると、この住基ネットから個人情報が大量流出するのは時間の問題か? どうせ流出するんなら、林家方面関係者にデータを教えてあげて、最近飽きられた感の強い、ペーの誕生日記憶芸に幅を持たせてあげてはいかがだろうか? きっとテレビが今より数倍おもしろくなると思います。だって、ペーが「アッコさんお誕生日は8月3日でしょう。東京都杉並区の山田さん(36歳) 京都府中京区の勅使河原さん(21歳)と同じ誕生日だね。」と言い始めるわけですよ。俺もペーに誕生日を憶えてもらいたい!

戦場からのラフライター、 通信筋線異常なし！

高部正徹(たかべ・まさき)
現役日本人傭兵。現在も各地を
転戦中。著書に『傭兵のお仕事』
(文芸者)、『傭兵の誇り』小学
館 などがある。

日本のためには命を張れない

僕の本職は戦争だが、戦争中も副業である原稿執筆の依頼が舞い込んでくる。だいたいその時の状況や今後の見通しを考慮して仕事を受けるかどうか決めるが、そこでもっとも気になるのがインターネットの接続状況。作戦の都合で奥地だと衛星電話でもない限り原稿を送るのは不可能だ。そこで原稿を引き受ける場合は近い将来に奥地に行く予定がないときに受けることにしている。だから日本の友人などはどこかで連載が始まると「しばらくは比較的安全なところにいるだろう」と少しは安心すると言っていた。だが、我々の仕事は急な任務が発生することが多い。そこで原稿、特に連載を引き受ける場合、状況によっては一時、または戦死などにより永遠に連載

が中断されるでも大丈夫な仕事であることを第一条件にしている。つまり、戦場とは死がすぐそばにあるもので、それによって原稿を落とすことがあっても、責任は持ちませんよということを担当者に理解してもらわなければ連載は書かないことにしているのだ。戦場から原稿が送れるということは、戦場でインターネットで日本の状況を知ることができるということだ。日本を出て日本を見ると、ニホンという国がよくわかるというがこの戦場から見ているも日本の異常さはよくわかる。みなが必死にならないと生きていけない戦場から見ると、意気消沈して私利私欲がはびこっている今の日本は末期的にさえ思える。私利私欲しか考えていない国会議員の話や、セックスの心



現地に建てられた日本人傭兵の慰霊碑。この地では過去10年の間に3人の日本人傭兵が亡くなっている。彼らも、日本の現状を見たら嘆くのだろうか？

配ばかりしている女子高生の情報が入ってくるたびに、敵に対する以上の憎しみや嫌悪感が湧き上がってくる。「こっちは、命のやりとりをとるんじゃ！ セックスの心配なんぞしてられるか！」という風いだ。自分は今、とある民族のために戦っている。しかし、彼らのために戦っても、日本のために命を賭けよう

とはどうしても思えない。日本という国にその価値が感じられないからだ。僕が今戦っているこの場所は、かつて大勢の日本兵が戦い、死んでいったジャングルだ。ジャングルの奥から、かつての日本を思いつつ戦死していった日本兵の霊の嘆きが聞こえてくるように感じる。

聖 咲奇の “劣る”ロボット”

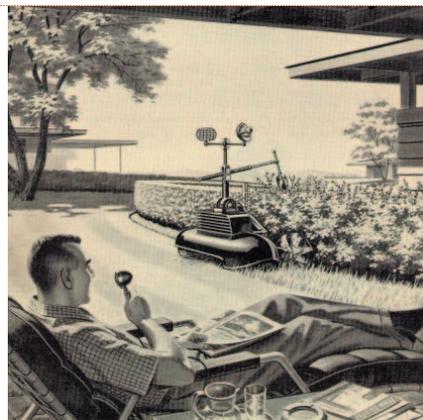
音声入力ロボット活躍

驚異の未来は過去にあり。今回は1950年代アメリカから持ち帰った家庭の未来図だ。うららかな土曜日の昼下がり。妻と子供は円盤型自家用飛行機で、反重力デパートまで買い物に行っている。亭主は庭の生け垣を刈ることになっている。パテオのテーブルの上に冷たい物を用意して、デッキチェアに身を横たえようと、やあらマイクに向かって「スタート！」。あとは雑誌でも読んでいけば「電子庭師」が生け垣を綺麗に刈り込んでくれるだろう。戦後、センサーやオートマチックなどの制御技術が家庭で使用され始めることを予測した電気会社アメリカズ・インディペンデント・エレクトリック・ライト&パワー社は、そういった大型電力消費に合わせた供給

を計画した。電化未来を描く事であるべきライフスタイルを提案したのがこの広告である。音声入力の発想は古くからあったが現実味を帯び始めたのはこのころで、当時の映画にも音声入力のコンピュータやロボットが登場する。メカを音声でコントロールするというのは、このころからの“夢の未来”だったわけだが、実現はそう簡単ではなかったようだ。音声認識は現在でも開発途上みたいなもので、冗談みたいに出来る悪いのもあれば、かなり使えるものもある。担当者の話では、この秋から来春くらいにかけて実用化されるホンダとIBMが共同で開発した自動車用の音声入力システムはかなり凄いらしい。そういえば、鉄人28号は音声入力

1950年代、アメリカズ・インディペンデント・エレクトリック・ライト&パワー社は右のようなライフスタイルを提案する広告を作り続けていた。

今月の一句
『あの機械 風見鶏では
ありません』



だと誰かが言っていた。確かに、正太郎君の「行け！ 鉄人」はレバー2本の操縦器よりも操作性に優れているように思われる。ジャイアントロボも音声入力だったし、同じ横山光輝作品としては鉄人も……。あと、おもしろいのは、「禁断の惑星」に登場したロボット、ロビーで、187の言語とほとんどの方言を認識するという設定(ちゃんと劇中のセリフに出てくる)なのだが、頭部のメカをカシャカシャと動かすことで、

音声を認識して答える用意をしている過程を観客にアピールしている。IBMさん、次は“まともに”喋るシステムに取りかかってください。

聖 咲奇(ひびり・さき)
SF、ホラー、ファンタジー、レトロなどに
関することを職業にしている。アミューズ
メント総合学院の講師、大手ゲーム会社
の顧問なんかも仕事。いったい何者だ？

コーヒーとワンカップに気をつける！

古本にはコーヒーが似合う。どんな貧乏な古書店でも、コーヒーにはお金をかけねばならない。高貴な僕はスマトラのマンドリン、もしくはモカマタリあたりが好きなのだが、インスタントでもネスカフェゴールドブレンドクラスを飲みたいものだ。まあ、ほとんどネスカフェゴールドブレンドなんだけどね。ちなみにビールはいつも発泡酒。安い酒ばかり飲んでいると人間が安くなるという説があるが、それに怯えて暮らす日々である。具体的には歩きながら、もしくはオンライン古書店主らしく、本を梱包しながらワンカップ系にならないか非常に心配だ。話がそれだが、そんなわけで、コーヒー関連の古本というのはけっこう人気がある。特にイチオシなのは、

獅子文六の『可否道』だ。この作品はネットでもなかなか入手できなくなっており、価格が高騰しているもののひとつ。可否道というのはなにかというと、茶道のコーヒー版である。コーヒーをめぐる三角ならぬ恋の四角関係が、可否道を追求する可否会とからみあって進んでいく。ラストシーンに「君のコーヒーを飲んだら、もう、ぼくは、理性も良心もなくなっちゃったよ。このコーヒーが毎日飲めるなら、どんな犠牲も払うよ」というセリフが出てくるが、コーヒーとは、ここまで人を狂わせる飲み物なのだ。これは相当な名文で、「コーヒー」を「メール」、「飲む」を「読む」と置きかえると、出会い系サイトをめぐるトラブルの真実が見えてくる気がしなくもない。それはさてお

獅子文六『可否道』(新潮社) 装丁・内容ともにパーフェクトな小説。絶版。文庫化したときに『コーヒーと恋愛』と改題され、タイトルもパーフェクトに



き、獅子文六は『可否道』を書くためにコーヒーを飲みまくり、見事胃をこわしたが、僕も古本を買いまくりパソコンがカビるくらいにならなくてはと、思うのであった。ネットを利用したアナログな古書店の連載だったが、ファンの思いもむなし、今回が最終回である。先日ウェブで出前注文ができるIT出前のポータルサイトで弁当を注文する機会があったのだが、内情はサイトのスタッフが注文チェックをし、加

盟店にファックス送信するという人情味あふれるシステムだった。仲間だと思った。ワンカップも注文できたらいいな、と思ったのは絶対内緒だが、良きライバルとして切磋琢磨しようかと……。しないか？

鈴木収春(すずき・かずはる)
おそらく最年少オンライン専業古書店主。ついに某社の社員になるとのウワサあり
www.ne.jp/asahi/ecodec/ep/



“ さよなら、
告知！！
スペシャル ”

この素晴らしく、メール来まくりでインタラクティブなコーナーも今回で最後になりました。半年の短い間でしたが、みなさんと一緒に作ったこのコーナーは、担当者の一生の思い出です……最後くらいこういうカッコイイことを言ってみて良かったです。結局、このコーナーと読者のみなさんの間でやり取りされた情報量は5506バイト。宛先を間違えて送られてきたメールが一通でした。タイトルに100メガバイトと謳ったものの、事実上その0.00005パーセントにも満たないインタラクティブ率だったわけです。というわけで、責任取りました。古典的ですが坊主にして、いちから出直しを決意しております。ただし！ 実は来月から装いも新たに読者参加コーナーがスタートします。つまり、新装開店告知スペシャルになるのです。強化された「告知！」に乞うご期待！

これからも楽しいことやってきます

① レビュー募集！

あなたのつかっているパソコン、ルーターなど各種機器、オンラインのサービスなどをレビューしてください。オラがパソコンの自慢話から、売れてるこのルーター、実はこんな欠陥があった！なんていうレポートまでなんでもOK！ 新装開店読者コーナーで掲載させていただく予定です。条件は自腹を切った製品、サービスであること。お腹を痛めたコイツだからこそ、愛のあるユーザー的レビューができるってもの。会社支給マシンは不可！

② イラストレーター募集！

愛するパソコンがあって、レビューしたいんだけど文章はちょっと、という人は、「絵」を描いてちょうだい。八代亜紀が好きでしようがないので、トラックにリキ入ったイラストを描いてちょうだい。トラック野郎よろしく、気合いの入ったルーターなどのイラストを待っています。応募は編集部へ郵送もしくは下のアドレスにビットマップ形式でお送りください！

この告知にかかわるもろもろの質問、応募は

im-100mega@impress.co.jp までプリーズ

③ 読者の使い方TIPS募集！

オレってパソコン、インターネット、ソフトをこんなスゲー使い方してるんだよねというアナタ！ その使い方をインターネットマガジン読者にも教えてあげてください。ワードのこの機能、実はこう使うと便利などというベーシックなものから、無線LANを応用して、トイレの水量をリモートコントロールしてます(できるのか?)といった奇想天外なモノまで、下のアドレス宛にお送りください。新装開店読者コーナーにてみんなに教えてあげる予定です。

④ やってほしいこと募集！

現在、鋭意準備中の新装開店読者コーナーですが、どのようなページにすればいいか、読者のみなさまからも意見を募集します。自分が読んでみたいと思う、読者コーナーの企画、アイデアを下記アドレスまでお送りください。ちなみに、「告知スペシャル!!」担当者は、ステイブ・ジヨブスの人生相談コーナーを希望します。ダメでしょうか？



風水師 YUKARI
 風水環境科学研究所所長松永修岳氏から、密教秘伝風水術を学ぶ。2001年10月より横浜市瀬谷区阿久和地区センター、2002年2月東京ガス株式会社において風水講演会を開催。現在空間プロデューサー、風水プランナーとしてフリーで活動中。
[▶ homepage1.nifty.com/yukari-fengshui/](http://homepage1.nifty.com/yukari-fengshui/)

インフォシークの巻き

さすらいの風水師YUKARI。彼女の向かうところレイアウト替えアリ。今回彼女が訪れるのは、検索サービス「infoseek」の運営を手がける株式会社インフォシーク。インフォシークは、競争激しい検索、ポータルサイトの世界にどのようなレイアウトで臨んでいるのか！ YUKARI先生が風水します。

YUKARI先生(以下YU) のの！いきなりで申し訳ないんですが、この入り口はマズイですね。
 広報担当小澤さん(以下小) そうなんですか？ 確かに、前々から狭いと思っていたんですけど……。
 YU 室内のスペースに対して入り口が小さすぎることも欠点のひとつですが、さらにこのドアの位置は「殺気」と呼ばれる位置なんですよ。

小 「殺気」っすか？ いかにも、ヤバそうな位置ですね。
 YU でしょ。風水には地の気の流れを見る「太極気」というものがあるんですが、それによると「殺気」の位置には人間関係を悪くする気を集める場所で、金銭トラブルも起こりやすいとなっています。
 小 なんとかならないっすかねえ？
 YU お？ 横にも大きな扉があるじゃないですか。こっち側の扉を入り口にする、「生氣」という位置になり、潜在性に働きかける気が集まって、積極性、やる気が出てきますよ。さらに活力をもたらしてくれるので、新規事業を立ち上げようとしている会社にはもってこいです。
 小 うーん。こっちの扉は、確か開かなかったような……。
 YU では、現状で良い気が入り口

に集まるようにしましょう。今、エレベーターの真正面に入り口がありますよね。気は適度に曲がった道を通ることでパワーを増すので、ツイタテを立てるなどして、エレベーターから入ってきた気が、入り口に届くまでに少し曲がった道を通るようにすればいいですよ。さらに、入り口の延長線上に非常口がありますよね。これでは、一度入ってきた気がそのまま非常口から逃げていってしまいます。非常口ですから、すぐに開けられるようにしておかないといけません。移動可能なパーティションで非常口を隠してしまうと気は逃げなくなりますよ。
 小 そろそろ、中のほうも……。
 YU て、天井が低い！
 小 そう言われてみると、低いような。これも、ヤバいんですか？

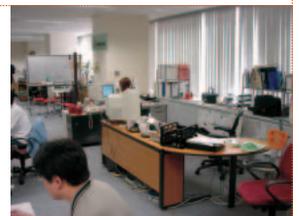
YU 天井が低いと圧迫感があり、感情が安定しないんですよ。
 小 でも、さすがに天井を高くすることはできないっす！
 YU あまり高い家具を置かずに、なるべく高く見せるようにしましょう。天井にライトをあてて明るくするのもいい解決法。上に向かって葉っぱが伸びているか観葉植物、アレカ椰子なんかがあるといいですよ。
 小 あ、アレカ椰子って日本でも手に入るっすか？
 YU 見つけてください。あと、社長のデスクはできるだけ窓ではなく、壁を背にするようにしてください。さもないと背中から気が抜けだしてしまいます。
 小 大丈夫！ 社長はほとんどデスクに座っていませんから！
 YU そ、それどうとかと……。

インフォシークの間取り

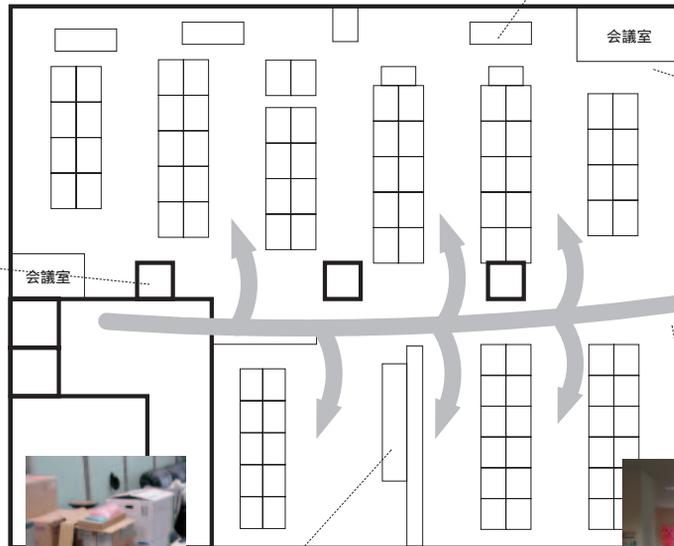


社名が入ったプレート
 ちょっと、右下がりになっていたのを直しておきましょう。こういったプレートや額が曲がっていると脳が混乱しやすく、仕事に正確性を欠くことになります。

森 学社長の机
 デスクの位置を少しずらして背中を壁に向けるようにしましょう。人間の気は背中から抜けるので、今のままだと、窓から気が流れていってしまいます！



でっかい柱
 柱などの角からは殺気が出ています。なるべく柱の角の延長線上に座らないようにしましょう。一見邪魔なように見える柱ですが、風水的には問題はありませんよ。



プリンターなど
 プリンター、コピー機の周りにダンボールが山積みになっています。なるべく片付けて、気のめぐりを良くしましょう。片付け、掃除は風水の基本です！



枯れた木
 気の滞りやすい部屋の隅に植物を置くのはナイスです。悪い気を植物が吸ってくれます。



非常口
 入り口から直線上に配置された非常口は、気を逃がしてしまいます。パーティションなどを置いて、良い気を室内に保てるようにするのがベストです。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp